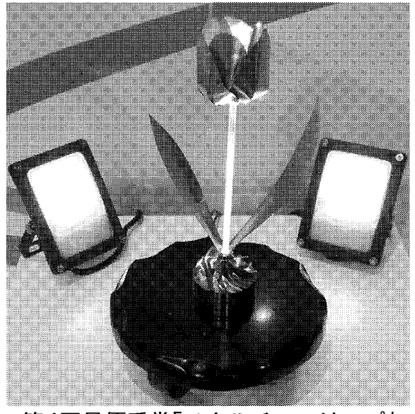
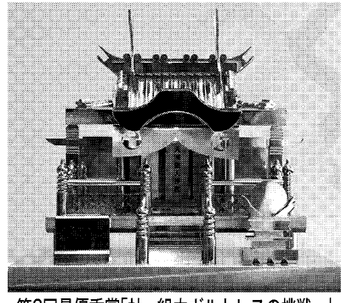
高精度加工を極める精密加工機械
―日本精密機械工業会

審査基準は技術力だけでなく、アイデアやユーモアも重視する。その精神は応募作品に象徴され、毎回、遊び心にあふれた意欲作が集まる。

過去の最優秀賞作品を振り返っても、トンボ、碁盤と碁石、神社、チューリップといった自然や伝統品を題材にした豊かな世界が表現されてきた。機械で制作されたと感じさせない作品が多く、工作機械の可能性の広さを感じさせる。またJIMTOF会場で展示されることで、「工作機械でこんなことができるのか」「現在、手がけている加工に生かせるか」と見る人の発想を刺激し、モノづくりの化学反応を連鎖させる。

今年で開催5回目。2010年に「会員みんなが元気になることをやろう」という声から単発イベントとして立ち上げたのが始まりだった。実施してみると会員や一般客から反響があり、現在にいたるまで継続している。直近の第4回はスギノマシンの金三津雅則氏の作品「メタルチューリップ」が最優秀賞を受賞。本社


第4回最優秀賞「メタルチューリップ」


第3回最優秀賞「社―組立ボルトレスの挑戦―」

が所在する富山県の県花、チューリップを織り込まれた瓦や欄干が見る人の目を奪う。第5回はどのような作品が頂点を極めるのか、期待が高まる。

参加表明の締め切りは3月31日、作品応募締め切りは9月14日、選考結果は12月6日に日精工主催の「JIMTOF2020前夜祭」で発表、表彰される。賞金は最優秀賞30万円1本、優秀賞10万円4本、特別賞5万円6本を予定している。

優秀賞を獲得したのは高松機械工業の「社―組立ボルトレスの挑戦―『匠の技をものづくり』」。精密に作り込まれた瓦や欄干細な金属加工によって表現した。第3回に最